

《 プロフィール 》

大歳恒彦（おおとしつねひこ）

東北公益文科大学名誉教授、山形大学理学部非常勤講師、工学博士
遊佐町環境審議会委員、美しい山形・最上川フォーラム会員

< 経歴 >

1976(昭和49)年 慶應義塾大学工学部工学研究科修士課程修了
財団法人日本環境衛生センター勤務
1998(平成10)年 酸性雨研究センター勤務
2001(平成13)年 東北公益文科大学教授
2012(平成24)年 同退職

< 著書など >

『脱温暖化 地域からの挑戦 山形・庄内の試み』、慶應義塾大学出版会(2012年)
『大学地域論のフロンティアー大学まちづくりの展開』、論創社(2007年)
(いずれも共著)

『庄内地域の大气・水環境について』、環境資源工学、58(4),p.165-169(2011年)
『新井田川下流の水環境への海水の影響』、東北公益文科大学総合研究論集、
No.20、p.49-56(2011年)

「もがみがわ水環境発表会」では、牛渡川、新井田川(第3回)、倉津川(第5回)の水質環境調査の結果や、植物による水質浄化(第4回)などについてポスター発表。